

作成し、その定着度を調査する。(一部、前学年の指導内容を含む)

第6学年を対象に国語、算数の2教科について、全国標準診断的学力検査(教研式NRT)を実施する。(第5学年の指導内容)

ウ 調査対象・実施時期

県内小学校第4・5学年児童全員。

2月1日 ~ 2月7日

県内小学校第6学年約1,000人児童。

5月8日 ~ 5月19日 実施済

エ 「調査結果報告書」の刊行(5月)

刊行物の発行及び助成

指定研究会の「研究紀要」刊行

機関誌「研究集録第37号」刊行

学習指導改善調査研究事業「報告書」刊行

各郡市小教研の「研究紀要」刊行助成  
各種会議の開催

評議員会: 年2回(6月, 2月)

理事会: 年11回(10月を除き毎月1回)

全県地区部長会: 年1回(6月)

研究部会: 必要に応じて随時

研究集録編集委員会: 年5回

学習指導改善調査研究事業

本部委員会: 年2回(5月, 3月)

研究推進委員会: 年9回

県費補助事業関係事務説明会: 年1回

コ ラ ム

校長への通知表

新潟市立東青山小学校 濱田敏子

7月の上旬から、鉛筆と紙を持った子供たちが大勢入室するようになった。

「校長先生、何歳ですか。住んでいる所はどこですか。好きな食べ物、好きなテレビ番組、好きな動物、好きな寝る時刻、好きな勉強は。この学校でいいと思うことは。学校で一番おもしろい所、小さい頃の将来の夢、子供の頃の遊び、得意な教科。最初に担任した子供の印象は。」等々いろいろ質問したり、スケッチしたりした。これは、児童会の広報委員会が『校長先生の似顔絵コンクール』をして、校長と親しくなろうという企画に応えるためであった。

質問を受けながら嬉しかったことがある。好きなもののシリーズを主に質問する低学年から、自分たちのことや学校の印象について質問する中学年に、そして、高学年になると自分たちの担任の印象や、どんな学校にしたいかとか、前任校では全校朝会でどんな話をしたかとかというような校長の経営方針にせまるかのような鋭い質問に変わってくるという学年発達をみたことや、相手に対して「嫌いなものは何」と質問せずに、「好きなものは何」と質問して相手を好意的に受けとめようとするプラス思考の考え方等である。

さて、完成して体育館に貼られたどのクラスの似顔絵にも若くて、笑顔いっぱい校長がいた。きっと、そうあってほしいという子供たちの願いであろう。各クラスのメッセージには、これからも明るく、やさしく、楽しくて元気で、自分たちと一緒に活動してくれたり、話をしてくれたりしてほしいとあった。二学期はもっともっと子供たち一人一人と親しくなろう。

この『似顔絵コンクール』の絵は、校長への一学期の「通知表」として大切にしていきたい。